

日本学術会議法案に関する緊急声明

2025年4月15日に日本学術会議から発表された声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて—政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって—」を強く支持します。

2025年5月2日

日本カリキュラム学会 理事有志

日本学術会議は、2025年4月15日に、声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて—政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって—」を発出しました。この声明は、2025年3月7日に閣議決定された日本学術会議法案が、日本学術会議から内閣府に対して確保を求めているナショナルアカデミーの5要件（1. 学術的に国を代表する機関としての地位、2. そのための公的資格の付与、3. 国家財政支出による安定した財政基盤、4. 活動面での政府からの独立、5. 会員選考における自主性・独立性）を充足しておらず、日本学術会議の独立性が損なわれるという懸念を表明するものです。日本学術会議では、同日、「同法案の修正を求める」旨の決議も行われています。

私たち日本カリキュラム学会理事有志は、本法案が日本学術会議という組織のみならず、学術研究の自由にとって今後大きな影響を与えることを深く危惧します。

私たちは、日本学術会議による声明と決議を強く支持し、日本学術会議法案が、日本学術会議「より良い役割発揮のための制度的条件」（2024年6月7日）で示された5要件をすべて充足したものになるよう修正されることを要求いたします。

賛同者（日本カリキュラム学会理事有志、五十音順）

石井英真

奥村好美

川地亜弥子

金馬国晴

草原和博

倉本哲男

黒田友紀

子安潤

澤田稔

高橋亜希子

竹川慎哉

中野和光

西岡加名恵

二宮衆一

藤本和久

富士原紀絵

松下佳代

的場正美

森久佳

吉田成章